

科目名・単位数	介護過程(3年次)		(2)単位	学習レベル	応用
学習目標					
① 人間の尊厳保持と自立支援の観点から介護過程の意義と役割を理解する。 ② 介護過程の各展開に必要な知識・技術を理解する。 ③ サービス利用者の希望を尊重した個別援助計画を展開する能力を身につける。					
学期	学習内容		学習のねらい	備考	
前期 (4月～9月)	4月	オリエンテーション 第2編 介護過程の展開 第2章 生活課題と目標の設定 1 目標の設定 2 目標の共有化	・年間の授業計画と基本的な心構えを準備する。  1. 介護目標の長期、短期に設定することで、目標達成に向けた段階的な取り組みの必要性を理解するとともに目標設定の留意点について考察する。併せて、介護支援専門員が作成する施設及び居宅におけるケアプランと介護職が作成する個別介護計画の概要、互いに果たしている役割についても学ぶ。 2. 介護の目標の達成には、介護職としての利用者、家族、他職種との課題や情報の共有が必要不可欠であることを理解する。	1 ワークシート	
	5月	第3章 介護計画の立案 第1節 介護計画の概要 第2節 個別介護計画の立案	介護計画の概要について理解するとともに、介護職としての計画を立案していくうえで求められる視点について考察する。  個別介護計画が持つ意義と目的について理解するとともに、介護目標の実現に向けた取り組み方を具体的に考察する。	2 ワークシート 3 ワークシート	
	6月	第4章 介護計画の実施と評価 第1節 介護計画の実施 第2節 介護過程のモニタリング	介護計画を実施していく中で行う実施状況の把握や記録の意義、目的を理解するとともに介護職として求められる視点を考察する。  介護過程における評価の意義、目的を理解するとともにその評価の際の留意点について介護職の視点で考察する。	4 ワークシート	5 ワークシート 個別援助計画票
	7月	第3編 介護過程の実践展開 第1章 介護過程の展開の実際 第1節 アセスメントの実際	高齢者の事例を活用し、ICFの視点による実際のアセスメントの方法を具体的に理解する。	6 ワークシート	
	8月	第2節 評価の実際	障害のある人の事例を活用し、個別介護計画にそった介護の実践に対する評価の方法を具体的に考察する。	7 ワークシート	
	9月	第4編 介護過程とチームアプローチ 第1章 介護過程とチームアプローチの意義		8 ワークシート	
	10月	第1節 チームアプローチが持つ意義 第2節 多職種連携	チームアプローチが持つ意義を理解するとともにチームアプローチ運営の望ましい、あり方を考察する。  利用者の生活課題の解決に向け、チーム内における介護職としての役割を理解するとともに、多職種としての役割を理解するとともに、多職種と円滑に連携を深めていく上での方法を具体的に考察する。	9 ワークシート	10 ワークシート
	11月	第2章 介護過程とチームアプローチの実際 第1節 施設介護におけるチームアプローチ	事例を題材に施設での専門職による連携のあり方を理解するとともに、チームアプローチを図る上で介護職に求められる姿勢を考察する。	11 ワークシート	
	12月～1月 2月	第2節 在宅介護におけるチームアプローチ	事例を題材に在宅福祉サービスでの専門職による連携のあり方を理解するとともに、チームアプローチを図る上で介護職に求められる姿勢を考察する。	12 ワークシート	
後期 (10月～2月)					
評価の観点と方法 観点 ① 人間の尊厳保持と自立支援の観点から介護過程の意義と役割を理解することができたか。 ② 介護過程の各展開に必要な知識・技術を理解することができたか。 ③ サービス利用者の希望を尊重した個別援助計画を展開する能力を身につけることができたか。 方法 ①上にあげた観点を総合的に評価する。					
使用教科書・副読本		(実教出版)「介護過程」、副読本(新・介護福祉士養成講座 介護過程(中央法規出版))			
教材・道具等		フェイスシート、個別援助計画票、事例集、パソコン			

